# 敵討岡崎女郎衆

後編三卷

へ13
2787
ヒ2

A 13
2787
2

85

特 へ13 2774
特 へ13 2787
2

佐みなハ
ふびんにの
うらうらん
ふうさ
めのなれバ
あさゆふの
くひものもすくなく
めし代十ぶんにおさ子にハ
きしずめし代らハせ手前ハ
くハずにくらさと日の
すくハ又まぶの丹吉
佐五らにうじて
なれバワがちよ
たん吉口にいらせ
にぞ
日しにさ
たん吉
丹吉と
おまへのるとふなると
つしふ平のまへまつ代
らぶさるおまちへ
りよなとり
ゆへさてハと
らひなまへのうしの
ひろきて
ゆへにわこん
うらしハワらよと
うげめんと
なめしもありいろ
ひとくあのひかさん吉

とじそのようかいくと
こころのまくにいさず
しとおもひさだめ
丹吉をそてまるほじして
かのうけふよびかれバ
たん吉ハワづかの才の
しゆうになれどおさな
のぐふんぜもなくすぐ
さなよふべしよみがへ
まへもこありのおはと
らぶさなうやよろ
らふせくの代をそさと
そのの
おや子とうかれて
ひんくの中にそだち
なかくもとさる
あけられ
なさ代おやのあれに
かけどもとしいふ
いかぶらくの
うらうぞとこころの
うちわあひつひえ
のなくぐさに
むせびけり

# 後編

# 敵討岡崎女郎衆

中

山東京傳作

仙鶴堂梓

醉放逸人画

おりこさま伝
蛇

蛇
小
落
用心
やるや

月雲昏
覺山画

後編

# 敵討岡崎女郎衆 下

山東京傳作

仙鶴堂梓

醉放逸人画

京傳作

京傳作

京傳店

京傳作

京傳店

讀書九

八13
2774 3
48

# 福島